

おかげさまで20周年

20th
シップヘルスケアグループ

わたし達の
“想い”を
届けたい

第21期
中間報告 [2012年4月1日▶]
[2012年9月30日]
株主通信



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

シップヘルスケアホールディングス株式会社

「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。

証券コード:3360



代表取締役社長

古川 國久

グループ理念

S. H. I. P.

Sincere (誠実な心) Humanity (人々の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

「生命を守る人の環境づくり」を、これからも。
SHIPヘルスケアグループはいつもYour Companyです。

基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表わし、当社グループの基本姿勢です。この言葉は、備中松山藩における幕末の陽明学者であり、教育者でもあった山田方谷の残した、人としての基本を説いたものです。

2012年Key word

アコーディオン経営を健気に!

『進化』と『成長』はとまらない 絶えず変化

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、株式上場以来掲げてまいりました「創業20周年で売上高2,000億円、経常利益100億円の達成」に向けて全力で取り組み、さらなる上積み邁進してまいりました。この結果、経常利益は1年前倒しで達成し、目標年度であるこの2013年3月期は、売上高2,180億円、経常利益127億円の達成を見込めるまでに成長いたしました。

当社グループは、医療・保健・福祉・介護を事業ドメインに、20年間業界のイノベーターとして絶えず革新を求めてまいりましたが、この道のりは、決して平坦ではなく、大きな決断を迫られる場面も何度もございました。その都度、グループの英知を結集し乗り越えてまいりました。

医療制度の改革、診療報酬の改定、新しい地域医療のあり方など、医療業界もここ20年で大きく変わり、そしてこれらをベースにした業界構造の変革、業界再編など、現在も大きなうねりの中にあります。

20周年を迎えるにあたり、あらためてS.H.I.P.の理念と、「生命を守る人の環境づくり」というミッションをグループ内に徹底し、人材の育成を継続してまいります。また、次なるステージでのさらなる成長を目指す上で、次の“旬”のビジネスは何か、グループのあり方、既存市場の深耕、海外・新分野への進出など新たな戦略をとりまとめてまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

する時代の要請に、“旬”をもって応える

業績について

売上高、期初予想の10.6%増を達成

当第2四半期の状況としましては、多数の大型プロジェクト案件が第2四半期までに売上計上されるとともに、自社製品の販売が堅調に推移したことなどを受け、売上高は、前年同期比32.9%増、期初予想比10.6%増を達成いたしました。現在、当社グループではこの上期の結果をもとに通期計画を上方修正し、売上高2,180億円、経常利益127.5億円の達成に取り組んでおります。

■ 業績結果 (単位：百万円)

	期初予想 (2012年5月7日発表)	2012/9実績 (当第2四半期)	増減率
売上高	97,500	107,808	10.6%
営業利益	4,700	6,751	43.6%
経常利益	5,050	7,284	44.2%
四半期純利益	3,200	4,406	37.7%

■ 2013年3月期の目標(計画) 数値の変遷 (単位：億円)

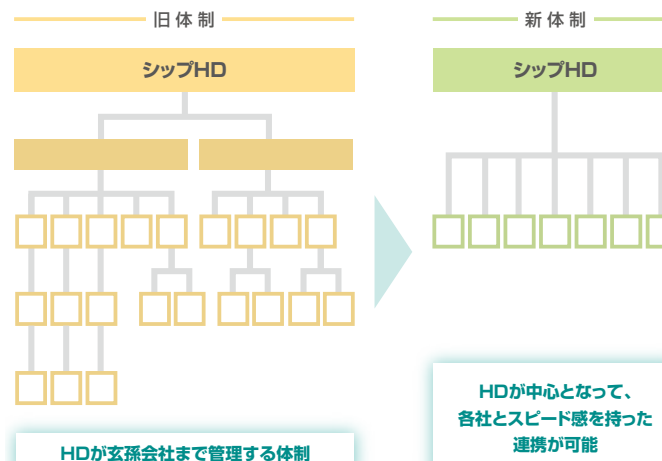
	売上高	経常利益	当期純利益
当初目標(2005年発表)	2,000	100.0	—
2012/5/7発表	2,100	117.5	72.5
2012/10/29発表	2,180	127.5	75.0

グループ経営について

次に向けた体制構築が進む

現在当社グループは、時代の要請や医療業界の変革に即座に対応できるようグループ経営の強化に努めております。今年は「アコディオン経営を健気に!」をスローガンに掲げ、グループの再編、各社組織の効率化、シナジー創出の強化、ITシステムの拡充などを実施し、スピード感あるグループ経営と、グループ内連携の充実、コスト対応力の強化などを推し進めております。

また、一連のグループ再編、各社組織の効率化などにより、グループ経営の基盤となるガバナンスの強化、新分野開拓の体制整備も行っており、次に備え、シンプルかつ、“旬”を提供できるグループ構造を作り上げております。



新しい取組みについて

ヘルスケアトータルエンジニアリング力を活かした総合展開

既存の旺盛な国内市場をベースにしながらも、次なる成長に向けた取組みも加速させております。その内のひとつが海外進出。既に子会社の(株)セントラルユニが韓国、インドネシアなどのアジア圏ビジネスの拡大を行っておりますが、メーカー系事業におきましては、開発・製造・販売・管理セクションが一体となった新製品開発を強化し、高付加価値製品の創出に努めております。一方、2011年12月にM&Aを行いました介護関連ビジネスにつきましては、当社グループが今までに蓄積してまいりました大型施設に、中型、小規模多機能型施設の開発・運営ノウハウが加わり、総合的な事業が可能となっております。このように、当社グループは、引き続き国内の既存市場をより深耕していくと同時に、新たな分野への挑戦を行ってまいります。

■ 中長期的マーケットイメージ



海外向けTPS事業、 本格始動

海外でのTPS事業について
本格的に始動してまいります。

当社グループはこれまで培ってまいりました高いコンサルテーション、ソリューション能力をはじめ、病院づくりを一括してサポートできる総合的なノウハウ・システムを有しております。

現在、アジア諸国を筆頭に経済発展を遂げてきた国・地域、戦火から平和がもたらされた国・地域などでは、医療施設、高度医療のニーズが高まっております。

当社グループでは、以前からこれら海外市場への進出を検討し準備を進めてきましたが、この度、海外営業部を新設し、本格的な事業展開を行ってまいります。

このような海外における病院づくりのサポートは、日本の高い技術力をもとに“生命を守る人の環境づくり”を世界に広げることであり、当社グループの創業の志からも積極的に取り組んでまいります。



モンゴルでの打ち合わせ風景



バングラデシュでのセレモニー風景

インドネシアで手術室を再現した ショールームを開設

(株)セントラルユニが
アジア市場での受注拡大に向けて2012年11月に、
ショールームをジャカルタにオープンいたしました。

当社グループのメーカー系事業の中核である(株)セントラルユニでは、アジア市場における手術室の施工事業を拡大するために、この度、インドネシアのジャカルタに手術室を再現したショールームを開設いたしました。このショールームは、現地代理店アネカガス社内にあり、約80㎡の広さを持っております。同施設は、東京湯島で展開しているMashup studioと同様に、現地の医療関係者を巻きご要望を聞きながら、手術環境変化にフレキシブルに対応できる「FLexDOCK」などを紹介しております。同社では、今回のインドネシアに続き、韓国でも自社工場内にショールーム設置を計画しており、アジア進出を加速してまいります。

経済発展を背景に高度医療が普及し始めているアジア市場。当社グループは、この市場においても確固たる地位を固めてまいります。

※アネカガス社：インドネシア国内で医療ガスの約99%を供給している会社



アネカガス社 ジャカルタ本部



オープニングセレモニー風景

あすと長町開発、 2014年春完成予定

あすと長町開発事業は
順調に進み、2014年春に完成予定です。

千里中央プロジェクトに続き、地域に根づく介護施設、調剤薬局、クリニックモールなどの医療複合型施設として開発を進めております「あすと長町開発事業」は、計画通りに進んでおり、本年10月に施工発注を行っております。計画全体では、約65億円の投資となりますが、3階以上にオープンする有料老人ホームは、入居者数300人を擁し宮城県内最大級になる見込みです。このような医療複合型施設の開発・運営は幅広いノウハウが必要であり、当社グループの持つヘルスケアトータルエンジニアリング力が不可欠な要素となっております。

また、このビルは当社グループの東北地域の事業拠点としての位置付けも持っており、東北エリアのグループ中核機能をここに集中し、各事業の連携・運営を強化してまいります。

復興を目指し頑張っておられる東北地方に、必要なヘルスケアを提供し、新たな雇用を生み出したい。当社グループはこのような想いで、本プロジェクトを進めてまいります。



地鎮祭風景

メーカー系3社が 「HOSPEX Japan 2012」に出展 ホスピタリティ

メーカー系3社が
2012年のHOSPEXに出展いたしました。

HOSPEX Japanは、日本最大級の病院・福祉設備機器に関する専門展示会として毎年多くの関係者で賑わっております。今年は11月14日(水)～16日(金)の3日間、東京ビックサイトで開催されました。当社グループからは、(株)セントラルユニ、酒井医療(株)、山田医療照明(株)の3社が出展し、共通のコンセプトのもと、それぞれの分野で明日の医療・介護現場の革新を目指し提案を行いました。

Concept [挑戦]



見えないガスを見えるガスへ



抱きかかえ
ゼロを目指して



LEDから
医療用LEDへ



日経IRフェア2012に出展

日経IRフェアに
3年連続で出展いたしました。

8月31日(金)～9月1日(土)の2日間に渡り開催された日経IRフェア2012に出展いたしました。厳しい残暑の中約14,000人の個人投資家さまが来場され、社長の古川による説明会や当社ブースでの説明にも、約2,000名もの方々にお越しいただきました。

その中で、今後のヘルスケア産業の成長性、当社グループの事業内容及び成長戦略について皆さまにご興味を持っていただくことができたと考えております。

また、継続して出展していることから、徐々に会社の知名度も向上してきたと実感しております。

今後も、個人投資家の皆さまとお会いする機会を増やし、積極的にIR活動を行ってまいります。

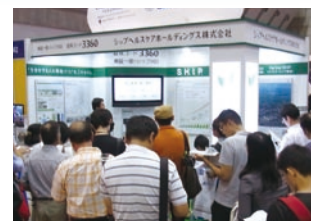
■ 次回の個人投資家向けIRに関するお知らせ

東証IRフェスタ
2013

- 2013年2月15日(金)～16日(土)
- 東京国際フォーラム B2F
展示ホール1&2



説明会風景

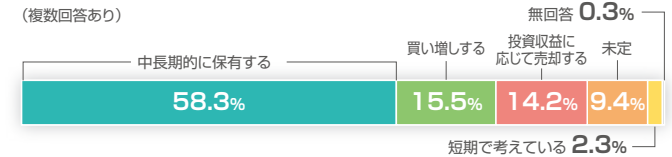


当社ブース

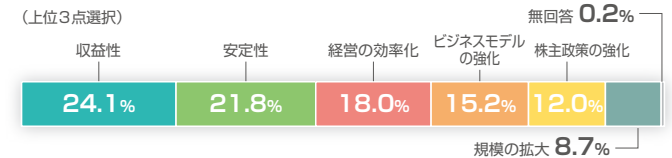
アンケートへの ご協力ありがとうございました。

第20期株主通信において株主の皆さまへのアンケートを実施いたしました結果、390名の方々よりご回答を頂戴いたしました(2012年9月30日現在)。ご協力を心より感謝申し上げます。集計結果や株主の皆さまのお声の一部を、ここにご紹介いたします。

■ 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



■ 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



その他様々なご意見の一部

- 業界No.1を目標にお願いします。
- 株主優待制度を新設してほしい。
- 株主還元策として配当性向を重視しつつ利益に応じて増配をお願いします。
- グループ理念S.H.I.Pを誠実に。これからも応援しています。
- 中長期で保有したいと思いますので将来への成長を期待しています。
- 現代の潮流に合致している。今後の発展に期待する。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆さまより多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

■ 連結貸借対照表

	当第2四半期 2012年9月30日現在	前第2四半期 2011年9月30日現在	前 期 2012年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	82,768	64,007	82,460
現金及び預金	22,918	16,887	15,268
受取手形及び売掛金	43,892	32,668	51,737
商品及び製品	6,989	6,380	6,982
仕掛品	2,149	1,624	1,493
その他	6,960	6,587	7,148
貸倒引当金	△ 142	△ 141	△ 169
固定資産	48,107	37,884	47,528
有形固定資産	27,446	24,684	26,753
建物及び構築物(純額)	8,948	6,642	8,009
土地	8,117	7,812	8,082
賃貸不動産(純額)	8,788	9,094	8,936
その他(純額)	1,592	1,135	1,724
無形固定資産	7,199	1,495	7,454
投資その他の資産	13,462	11,705	13,321
資産合計	130,876	101,891	129,989

	当第2四半期 2012年9月30日現在	前第2四半期 2011年9月30日現在	前 期 2012年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	66,567	49,020	67,937
支払手形及び買掛金	48,876	35,361	49,819
短期借入金	2,180	1,760	1,615
未払法人税等	2,113	1,413	1,981
賞与引当金	1,384	1,063	1,302
その他	12,013	9,421	13,218
固定負債	25,862	21,757	26,796
社債	2,526	3,480	3,108
長期借入金	18,998	15,250	19,369
退職給付引当金	1,907	1,693	1,885
その他	2,430	1,333	2,432
負債合計	92,430	70,777	94,733
【純資産の部】			
株主資本	37,315	30,333	34,352
資本金	5,667	5,667	5,667
資本剰余金	10,036	10,036	10,036
利益剰余金	21,612	14,630	18,649
自己株式	△ 1	△ 1	△ 1
その他の包括利益累計額	565	354	386
その他有価証券評価差額金	576	374	383
為替換算調整勘定	△ 11	△ 19	2
少数株主持分	565	426	517
純資産合計	38,446	31,114	35,256
負債純資産合計	130,876	101,891	129,989

■ 連結損益計算書

	当第2四半期 2012年4月 1日～ 2012年9月30日	前第2四半期 2011年4月 1日～ 2011年9月30日	前 期 2011年4月 1日～ 2012年3月31日
売上高	107,808	81,116	188,839
売上原価	92,295	69,239	161,759
売上総利益	15,513	11,877	27,080
販売費及び一般管理費	8,762	7,561	16,947
営業利益	6,751	4,315	10,132
営業外収益	738	865	1,651
営業外費用	205	244	532
経常利益	7,284	4,936	11,251
特別利益	1	86	163
特別損失	133	64	315
税金等調整前四半期(当期)純利益	7,151	4,958	11,100
法人税等合計	2,688	1,875	3,902
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	4,463	3,082	7,198
少数株主利益	57	74	171
四半期(当期)純利益	4,406	3,007	7,026

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 2012年4月 1日～ 2012年9月30日	前第2四半期 2011年4月 1日～ 2011年9月30日	前 期 2011年4月 1日～ 2012年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	10,846	5,972	8,827
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,117	△ 3,416	△ 8,988
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,089	△ 8,480	△ 7,215
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 6	△ 10	△ 2
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	7,632	△ 5,935	△ 7,379
現金及び現金同等物の 期首残高	14,371	21,750	21,750
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	22,003	15,814	14,371

業績の概要

Outline of Business Results

■ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位：百万円)

	2010/3	2011/3	2011/9	2012/3	2012/9 当第2四半期	2013/3 (通期予想)
売上高	140,009	162,432	81,116	188,839	107,808	218,000
営業利益	5,700	7,856	4,315	10,132	6,751	12,000
経常利益	6,142	8,850	4,936	11,251	7,284	12,750
四半期(当期)純利益	3,154	5,931	3,007	7,026	4,406	7,500
総資産	114,619	116,822	101,891	129,989	130,876	—
純資産	24,509	30,035	31,114	35,256	38,446	—

■ セグメント情報 (2012年4月1日～2012年9月30日)

トータルバックシステム事業

トータルバックシステム事業におきましては、大型のプロジェクト案件の売上計上が例年に比べ第2四半期までに集中したこと、特殊浴槽や無影灯、手術室の内装・医療ガスパイピングなどの自社製品の販売が想定以上に好調であったこと等から堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は39,567百万円(前年同期比49.1%増)、営業利益は5,010百万円(同112.9%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、岩手県立26病院における院内SPD業務を受託し順次稼働するなど、取引数量の拡大及び効率化が進捗する一方で、償還価格の引き下げにより循環器系デバイスの販売は厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は50,827百万円(前年同期比18.2%増)、営業利益は879百万円(同0.9%増)となりました。

ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年12月に実施した老人ホーム・グループホーム運営会社のM&Aにより施設数が増加したことに加え、食事提供施設の展開が進んだことにより売上高は拡大いたしました。一方で、M&Aを行った介護施設が構造改革中であることの影響を受け、利益は低調に推移いたしました。また、千葉県白井市に小規模多機能施設「リハモードヴィラ白井」をグランドオープンしたこと、デイサービス事業の新規展開を行ったことから先行費用が発生いたしました。

この結果、売上高は9,264百万円(前年同期比143.7%増)、営業利益は325百万円(同42.6%減)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗出店が進んだことにより売上高は拡大いたしました。一方、薬価改定や医薬卸との交渉が厳しい状況にあることで利益確保が難しい状況が続きました。このため、グループの調剤薬局が一体となって経営効率化を図ってまいります。

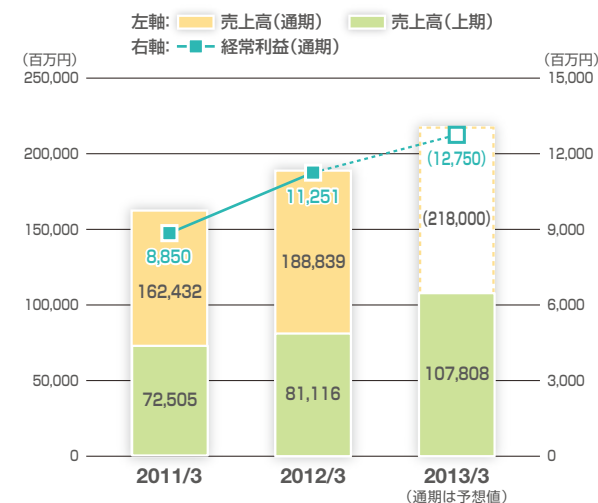
この結果、売上高は7,635百万円(前年同期比5.2%増)、営業利益は696百万円(同11.2%減)となりました。

その他

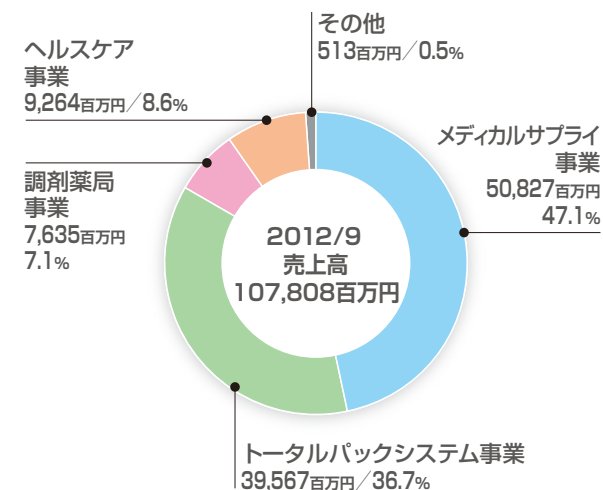
その他におきましては、動物病院事業が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗し、利益率も改善いたしました。

この結果、売上高は513百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益は78百万円(同3.2%増)となりました。

業績トレンド



セグメント別売上高構成比(2012/9)



会社情報

(2012年9月30日現在)

会社概要

商号	シップヘルスケアホールディングス株式会社	
設立	1992年8月	
代表取締役社長	古川 國久	
資本金	56億6,708万円	
決算月	3月	
従業員数	連結3,309名(正社員)	
本社所在地	〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号 TEL : 06-6369-0130 FAX : 06-6369-3191	

役員

代表取締役社長	古川 國久
取締役副社長	小川 宏隆
専務取締役	増田 順太
専務取締役	大沖 浩一
取締役	小本 林 浩
取締役	横山 裕司
取締役	細川 賢治
取締役	山本 薫
社外取締役(独立役員)	和田 義昭
常勤監査役	前田 亮昌
非常勤監査役	竹原 靖昌
社外監査役	水野 昌也
社外監査役	大山 博康

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで...

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp>



SHIP HEALTHCARE HOLDINGS

株式関連情報

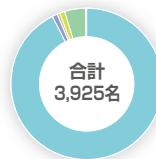
(2012年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	41,259千株
株主数	3,925名

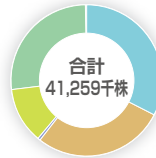
株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



個人・その他	3,641名	92.76%
金融機関	40名	1.02%
金融商品取引業者	22名	0.56%
その他法人	38名	0.97%
外国法人等	183名	4.66%
自己名義株	1名	0.03%

株式分布状況 (株式数別)



個人・その他	13,442千株	32.58%
金融機関	11,564千株	28.03%
金融商品取引業者	229千株	0.56%
その他法人	4,985千株	12.08%
外国法人等	11,034千株	26.74%
自己名義株	2千株	0.01%

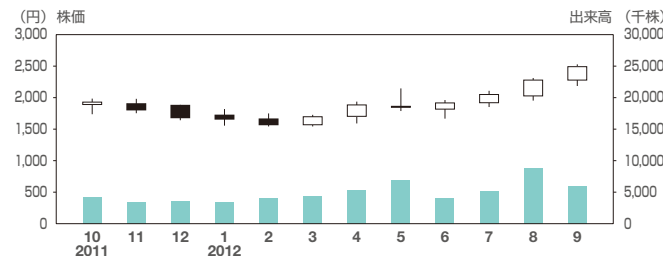
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

大株主の状況

	[保有株式数]	[保有割合]
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,585千株	8.69%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,470千株	8.41%
有限会社ココロー	3,381千株	8.20%
古川國久	1,988千株	4.82%
古川幸一郎	1,585千株	3.84%
春日興産合同会社	1,400千株	3.39%
増田貞満	1,232千株	2.99%
メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイツ クライアントメロンオムニバスユーエスベンション	1,060千株	2.57%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	895千株	2.17%
シップヘルスケアホールディングス従業員持株会	741千株	1.80%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移



株式関連情報

事業年度	4月1日～3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月中
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社(旧 クリーンホスピタルサプライ(株)の株主様) みずほ信託銀行株式会社(旧 セトラルユニの株主様)
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shiphd.co.jp (ただし、電子公告によることが出来ない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行並びにみずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.
Please check
[http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings\(3360\)](http://www.sharedresearch.jp/en/Ship_Healthcare_Holdings(3360))
to view the report.